

都市再生整備計画(第6回変更)

さいこちく
西湖地区

やまなしけん ふじかわぐちこまち
山梨県 富士河口湖町

平成21年12月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	山梨県	市町村名	ふじ かわぐちこまち 富士河口湖町	地区名	さいにー ちく 西湖地区	面積	730 ha
計画期間	平成17年度～平成21年度	交付期間	平成17年度～平成21年度				

目標

大目標：西湖固有の魅力を最大限に活かした「いやしとふれあいの里づくり」による地域活性化

目標1地域の特色を活かした新たな観光拠点の形成並びにインフラ整備により、観光交流を軸とした地域活性化を図る。

目標2自然体験学習基盤の充実により、エコツーリズム(地域の自然や歴史文化を体験し学ぶとともに、資源の保全に責任を持つ観光のあり方)の振興を図る。

目標3自然豊かな環境にふさわしい良好な景観の創出により潤い豊かな住環境を形成する。

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

・西湖地区は2つの集落（根場・西湖）から成り、林炭農業を生業としてきたがS41.9.25台風26号によって建物全壊79戸、死者81人、不明者13人の甚大な被害を受け、多くの住民は県有林内に移住し2つの民宿村を形成した。地理的には、幹線道路である国道139号より足和田山塊を挟んで2km程度離れており、条件的に不利な場所である。その反面、貴重な自然、美しい湖、世界的に貴重な青木ヶ原樹海が低利用の状態で残されている。

・かつての根場集落には40数戸の甲造り（かぶとづくり）茅葺民家が建ち並んでいたが、上記災害により被災を逃れた4戸以外の全てが失われてしまった。当集落には農山間の文化が色濃く残っており、特に富士山と西湖を眼下に一望できる茅葺民家集落の景観は素晴らしく、まさに日本の原風景とも呼べる集落であった。災害後は県有林内に開拓移住地を整備したため、旧集落地の多くは荒地として放置されてきた。

・西湖地区内に大規模な企業体はなく、被災後は零細な民宿業やキャンプ場業、釣り宿業を生業としてきた。高度成長期以降民宿経営も修学旅行や林間学校等の需要があったが、需要は5～6月や夏季に集中し冬季需要はほとんど皆無に近く、また、近年の少子化や旅行の個人・小グループ化を受けて、需要は年々減少している。よって、2世代の多くは地区外へ勤めに出て、後継者不足に陥っている。

・平成15年11月15日に町村合併が行われ富士河口湖町が誕生したが、観光産業基盤が整っている河口湖エリアと比較して脆弱な環境下にある西湖地区の活性化が新町活性化の重要な課題となった。そこで合併を機に、西湖地区の将来像に関する住民要望と資源性を踏まえ、西湖地区全体の地域づくりのコンセプトを「いやしとふれあいの里づくり」と設定した地域活性化ビジョンが構想され、地区住民主体の「西湖いやしの里地域検討委員会」を中心に、マスタープランづくり、体制づくりなどの取り組みが行われ始めた。具体的には、根場地区における茅葺集落の再現による観光交流拠点づくりや、西湖地区（旧集落）における花広場の整備などが構想されている。

・西湖地区のシンボリックな自然資源である青木ヶ原樹海では、平成10年頃より民間団体等を中心にエコツアー（ガイドを伴った自然や歴史文化の体験学習ツアー）や自然体験・環境教育プログラムが近年活発化しつつある。その一方で、自然環境の保全と観光振興の両立が大きな課題となっており、町では持続可能な観光地づくりを目指したエコツーリズムの取り組みを始めたところである（平成16年6月2日、環境省のエコツーリズム推進モデル事業に「富士北麓地域」が選定された）。また、当地域が抱える豊富な森林資源は、森林が持つ“癒し効果”を健康増進やリハビリテーションに活用する「森林療法（森林セラピー）」のフィールドとしても活用していく方向で研究を行っている。

・平成18年3月に上九一色村南部地区と町村合併の予定。

課題

恵まれた自然環境を舞台に観光交流を軸とした地域活性化を図るためには、拠点整備の促進と、景観向上が課題である

・西湖地区には豊かな自然が残されており、多くの観光客が訪れるが、地域を活性化させる見所や立ち寄り所等の拠点到乏しいことから、観光客の受け入れ体制を整える必要がある。

・西湖地区では、青木ヶ原樹海等を中心として様々な事業体によるエコツアーが盛んに行われるようになってきているが、まだ地域全体におけるエコツーリズムの理念や指針が存在しないため、全体として相乗効果を発揮しないばかりか、貴重な自然・文化資源が損われてしまうケースもみられるので、住民・事業者・行政が一体となったエコツーリズム振興の取り組みが必要である。

・西湖地区ではS41年災害の後、多くの住民が県有林内の2つの移住地に移住したため、旧集落内には空家や空き地が点在して街の活力が失われていたり、地区における望ましい景観づくりに関するコンセンサスがないため、建物や看板などが自然豊かな地区の魅力を損なっているため、住民による主体的な景観向上の取り組みが必要である。

将来ビジョン(中長期)

美しい自然に調和した街並み整備と、西湖地区固有の資源性を有効に活用した観光を軸とした地域活性化

・旧足和田村の第3次長期総合計画には、「悠・優・雄の里」（美しい自然に調和した豊かな村づくり）を全体目標として、村内の民俗資料の保全と活用、花いっぱい運動の推進、季節の山菜等特産物の研究・開発、看板の統一、電柱の処理、木工等の体験学習施設充実、西湖湖畔のポケットパーク整備（主としてトイレと駐車場）、良好な景観形成のための住民協定などが位置付けられている。

・「河口湖町・勝山村・足和田村・上九一色村の将来構想に関する調査」（H14.12）においては、富士四湖ベルト地帯（河口湖・西湖・精進湖・本栖湖、及び青木ヶ原樹海）の基本的な方向性として、御坂山系や青木ヶ原樹海を活用した観察・散策ツーリズムの推進が位置付けられている。

・「新町建設計画」（H15.10）においては、西湖地区に係る事業として、向浜（西湖地区東端部）の親水公園づくりや、青木ヶ原樹海散策路整備が位置付けられている。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
地区内民宿組合の体験学習プログラム利用者数	人／年	根場民宿組合体験学習プログラムの1年間の利用者数の合計	新たな観光拠点の創出により、地区内民宿組合が実施する体験学習プログラムの利用者数1割増加を目指す	14,500	H15	15,950	H22
地区内観光施設利用者数	人／年	地区内の自然体験型施設（西湖コウモリ穴、西湖野鳥の森公園）の1年間の利用者数の合計	自然体験学習基盤の充実により、自然体験型観光施設の利用者数1割増加を目指す	86,302	H15	94,932	H22
地区内世帯数	世帯	地区内の世帯数の合計	地区内の住環境向上により、世帯数の3%増加を目指す	194	H16	200	H22

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針		方針に合致する主要な事業
整備方針１（地域の特色を活かした新たな観光拠点の形成並びにインフラ整備により、観光交流を軸とした地域活性化を図る） ・災害によって失われた茅葺集落の再生を通して、地域の歴史・文化・自然を軸とした観光交流による地域活性化拠点として、西湖いやしの里根場を整備する。 ・西湖地区のグランドは排水や雨漏りなどに問題を抱えるが、当該施設は地区住民が利用するのみならず、西湖地区の民宿等の宿泊者による利用も非常に多く、また、災害時の避難場所も兼ねているため、これらを改修して観光活性化及び地区住民、観光客の安全の確保を図る。 ・西湖地区では各集落が急傾斜地を背後に抱え土砂災害の危険度も高く、東海大地震等の大規模災害の発生も想定される中で、老朽化が著しい防災行政無線、並びに避難場所である体育館の更新により、住民及び観光客の安全を確保する。		・地域生活基盤施設（基幹事業／西湖いやしの里根場（園路等）、水道防火施設）、高質空間形成施設（基幹事業／西湖いやしの里根場・水路、西湖いやしの里・電線類地下埋設、西湖いやしの里根場・公衆トイレ）、高次都市施設（基幹事業／西湖いやしの里根場茅葺集落）、地域創造支援事業（提案事業／西湖いやしの里根場（地域文化創造館、茅葺建築職人育成））、事業活用調査（提案事業／西湖いやしの里（西湖いやしの里整備運営計画監理））、まちづくり活動推進事業（提案事業／西湖いやしの里根場（事業記録映像製作・ＰＲ）） ・地域生活基盤施設（基幹事業／西湖南グランド、西湖西グランド） ・地域生活基盤施設（基幹事業／防災行政無線、西湖南体育館）
整備方針２（自然環境の保全と観光振興が両立する持続的な観光地にするため、エコツーリズム（地域の自然や歴史文化を体験し学ぶとともに、資源の保全に責任持つ観光のあり方）の振興を図る） ・エコツアーガイドの育成や組織化など、青木ヶ原樹海を中心として展開するエコツーリズムの振興に関する調査を行う。		・地域創造支援事業（提案事業／青木ヶ原樹海等（エコツーリズム振興調査））
整備方針３（自然豊かな環境にふさわしい良好な景観の創出により潤い豊かな住環境を形成する） ・生活環境の向上及び公共用水域の水質保全において下水道の整備には絶大な効果があるので、一層の下水道整備により美しく住みやすい地区環境を整える。 ・自然豊かな西湖地区にふさわしい景観を創出するため、西湖地区の住民有志や住宅建設関係者による景観研究会を立ち上げ、景観に関する住民コンセンサスを醸成する。 ・自然環境との調和を主眼として策定された富士河口湖町サイン計画に基づき、西湖地区におけるサイン整備を推進することにより、景観向上を図る。		・下水道（基幹事業／富士北麓流域下水道関連）、地域創造支援事業（提案事業／下水道） ・まちづくり活動推進事業（提案事業／西湖地区（全域）（景観研究会）） ・地域生活基盤施設（基幹事業／西湖地区サイン）
その他		
○事業終了後の継続的な地域振興活動 「いやしとふれあいの里づくり」は地区住民を主体とした永続的な地域活性化活動である。いやしの里根場の整備については、平成２０年度を目途にコア地区の整備（第一期整備）を完了させるが、その後もコア地区以外での整備や、断続的なリニューアル事業を続けていく。 ○景観計画策定について 当町では、周辺の自然環境と調和した都市景観を創造するための景観計画策定及び景観条例の制定を目指している。現在は１７年度中での策定・制定を目指して、ワーキング、検討会を通じて方向性を調査中である。 ○「観光交流空間づくりモデル事業」と「関東富士見百景」、「エコツーリズム推進モデル事業」について 当町は、国土交通省の「観光交流空間づくりモデル事業」（H16～H20）に選定されるとともに、西湖北岸地区が同省関東地方整備局の「関東富士見百景」に、また当町を含む富士山北麓地区が「エコツーリズム推進モデル事業」（H16～H18）で選定されている。これら国レベルの支援を積極的に受けながら、先進的なまちづくり、地域活性化の取り組みを推進していく予定である。		

交付対象事業等一覧表

交付対象事業費	1,345	交付限度額	544.5	国費率	0.405
---------	-------	-------	-------	-----	-------

(金額の単位は百万円)

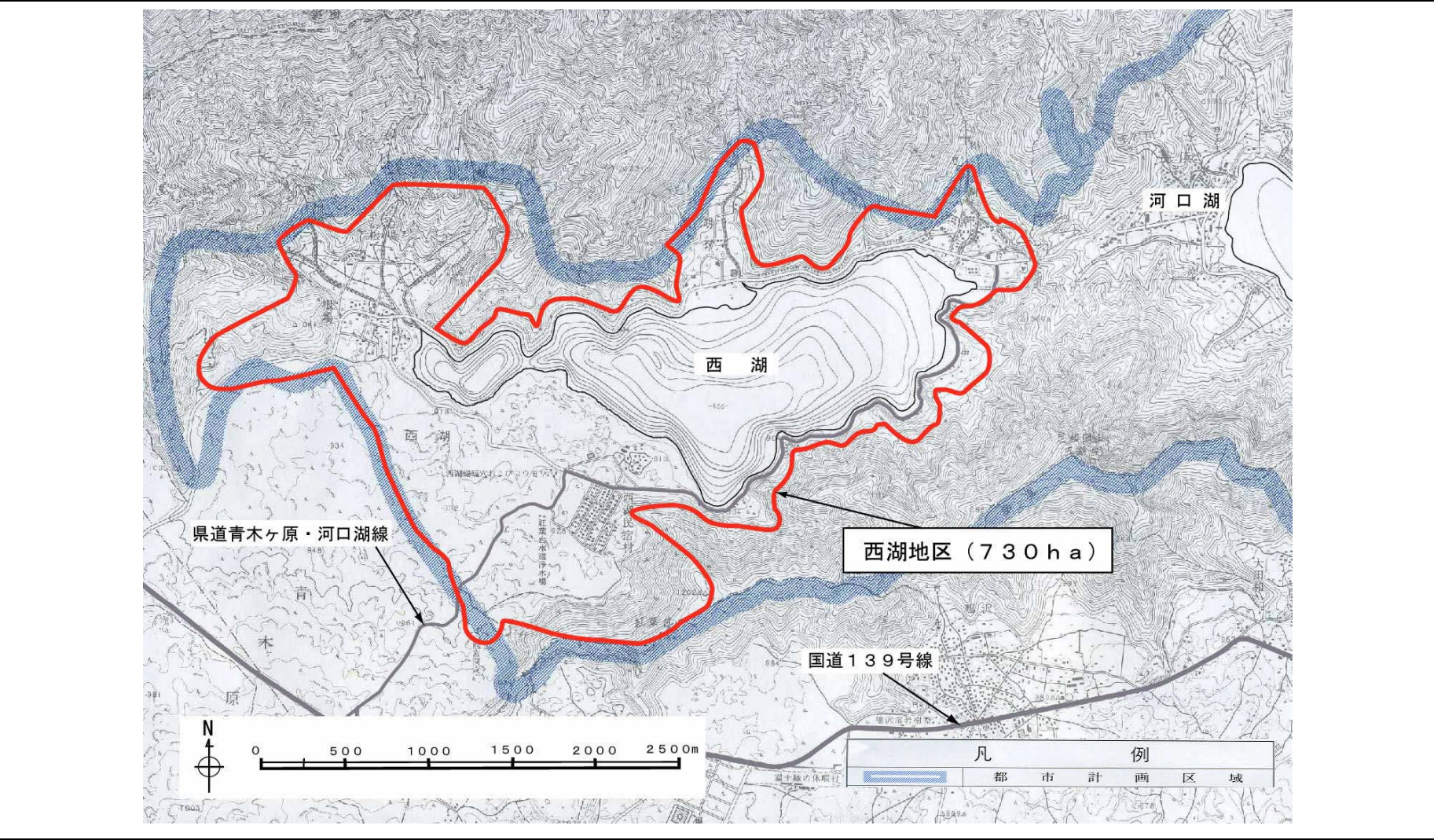
基幹事業														
事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体 事業費	交付期間内 事業費	うち官負担分		交付対象 事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度			うち官負担分	うち民負担分	
道路														
公園														
河川														
下水道	公共下水道	富士北麓流域下水道関連	富士河口湖町	直	L=770m	H17	H21	H17	H21	70	70	70		70
駐車場有効利用システム														
地域生活基盤施設	広場	西湖いやしの里根場(園路等)	富士河口湖町	直	A=120ha	H16	H21	H17	H21	304	255	255		255
地域生活基盤施設	広場	西湖南グランド	富士河口湖町	直	A=10,000㎡	H19	H19	H19	H19	5	5	5		5
地域生活基盤施設	広場	西湖西グランド	富士河口湖町	直	A=10,000㎡	H17	H18	H17	H18	10	10	10		10
地域生活基盤施設	情報板	西湖地区サイン	富士河口湖町	直		H17	H21	H17	H21	10	10	10		10
地域生活基盤施設	地域防災施設	防災行政無線	富士河口湖町	直		H17	H17	H17	H17	55	55	55		55
地域生活基盤施設	地域防災施設	西湖いやしの里根場・水道防火施設	富士河口湖町	直	L=1,400m	H17	H21	H17	H21	71	71	71		71
地域生活基盤施設	地域防災施設	西湖南体育館	富士河口湖町	直	A=1,020㎡	H18	H19	H18	H19	10	10	10		10
高質空間形成施設	緑化施設等	西湖いやしの里根場・水路	富士河口湖町	直	L=120m	H17	H17	H17	H17	3	3	3		3
高質空間形成施設	電線類地下埋設施設	西湖いやしの里根場・電線類地下埋設	富士河口湖町	直	L=700m	H17	H18	H17	H18	50	50	50		50
高質空間形成施設	歩行支援施設	西湖いやしの里根場・公衆トイレ	富士河口湖町	直	A=100㎡	H21	H21	H21	H21	40	40	40		40
高次都市施設	観光交流センター	西湖いやしの里根場茅葺集落	富士河口湖町	直	総建築面積=1,500㎡、13棟	H16	H21	H17	H21	656	550	550		550
既存建造物活用事業														
土地区画整理事業														
市街地再開発事業														
住宅街区整備事業														
地区再開発事業														
バリアフリー環境整備促進事業														
優良建築物等整備事業														
住宅市街地 総合整備 事業	拠点開発型													
	沿道等整備型													
	密集住宅市街地整備型													
	耐震改修促進型													
街なみ環境整備事業														
住宅地区改良事業等														
都心共同住宅供給事業														
公営住宅等整備														
都市再生住宅等整備														
防災街区整備事業														
合計										1,284	1,129	1,129	0	1,129 …A

提案事業															
事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体 事業費	交付期間内 事業費		うち官負担分	うち民負担分	交付対象 事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度						
地域創造 支援事業	地域文化創造館	西湖いやしの里根場	富士河口湖町	直	総建築面積=480㎡、4棟	H17	H20	H17	H20	150	150	150		150	
	茅葺建築職人育成	西湖いやしの里根場	富士河口湖町	直		H17	H21	H17	H21	7	7	7		7	
	エコツーリズム振興調査	青木ヶ原樹海等	富士河口湖町	直		H16	H21	H17	H21	16	15	15		15	
	下水道	富士北麓流域下水道関連	富士河口湖町	直	L=80m	H17	H21	H21	H21	8	8	8		8	
事業活用調 査	西湖いやしの里整備運営計画監理	西湖いやしの里	富士河口湖町	直		H16	H21	H17	H21	17	10	10		10	
まちづくり活 動推進事業	景観研究会	西湖地区(全域)	富士河口湖町	直		H17	H18	H17	H18	6	6	6		6	
	事業記録映像製作・PR	西湖いやしの里	富士河口湖町	直		H18	H19	H18	H19	20	20	20		20	
合計										224	216	216	0	216	
													合計(A+B)	1,345	

[illegible]

都市再生整備計画の区域

西湖地区（山梨県富士河口湖町）	面積	730 ha	区域	富士河口湖町西湖地区の一部、及び西湖南地区、西湖西地区の全部
-----------------	----	--------	----	--------------------------------



西湖地区(山梨県富士河口湖町) 整備方針概要図

目標	西湖固有の魅力を最大限に活かした「いやしとふれあいの里づくり」による地域活性化	代表的な指標	地区内民宿組合の体験学習プログラム利用者数 (人/年)	14,500	(15年度)	→	15,950	(22年度)
			地区内観光施設利用者数 (人/年)	86,302	(15年度)	→	94,932	(22年度)
			地区内世帯数 (世帯)	194	(16年度)	→	200	(22年度)

